

# 小学校社会科 単元指導計画（第6学年） **【例】**

## 1. 単元名 「大陸に学んだ国づくり」 (内容のまとめり 第6学年(2)我が国の歴史上の主な事象)

### 2. 単元の目標

- 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化を手掛かりに、天皇を中心とした政治が確立したことや日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめることができるようにする。
- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現できるようにする。
- 大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化について、主体的に課題を追究・解決しようとする態度やよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。

### 3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化を理解している。 ②調べたことを関係図や文などにまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が生まれたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化について考え表現している。 ②大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化を関連付けたり総合したりして、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。	①大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化について、予想や学習の見通しを立て、学習を振り返ったり見直したりして、課題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとしている。

### 4. 指導と評価の単元計画(全9時間)

- ・・・学習状況を見取り、生徒の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につなげる評価」
- ・・・観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」

	主な学習活動(◇)と留意点(◆)	めあて・課題	評価の観点			評価規準
			知	思	態	評価方法
一次 (1時間)	◇遣唐使について調べ、学習課題をつくり、学習の見通しを立てる。 ◆危険な航海や持ち返ったものに関する児童の疑問を分類・整理して板書し、単元を見通した学習課題を設定する。	・大陸の文化と当時の国づくりとの関わりについて学習課題をつくり学習の見通しを立てよう。			●	【態①】大陸の文化と当時の国づくりとの関わりについて、課題解決に向けた学習の見通しを立てている。 行動観察・ノート
単元を見通した学習課題 大陸から伝わった文化は、日本の国づくりにどのように生かされたのだろうか。						
二次 (2時間)	◇聖徳太子について調べ、目指した国づくりとその後の政治に与えた影響を捉える。 ◆聖徳太子について、仏教や役人の心構えに着目させて文献や地図で調べさせる。	・聖徳太子はどのような国づくりを進めたのだろうか。	●			【知①】資料から聖徳太子の業績を読み取り、大陸文化を取り入れながら天皇中心の国づくりを目指したことを理解している。 行動観察・ノート

	<p>◇大化の改新と木簡の内容について調べ、都と地方の関係性について考え、天皇中心の政治のしくみについて捉える。</p> <p>◆大化の改新について、藤原京の建造と律令の整備に着目させて調べさせる。</p>	<p>・中大兄皇子と中臣鎌足はどのような国づくりを目指したのだろうか。</p>	●		<p>【知①】資料から中大兄皇子と中臣鎌足の業績を読み取り、聖徳太子の考え方が受け継がれたことを理解している。</p> <p>行動観察・ノート</p>
三次 (2時間)	<p>◇聖武天皇について調べ、天皇中心の政治のしくみが整えられたことを考える。</p> <p>◆国分寺の建設と大仏造営の様子から天皇の力が全国に及んだことに気付かせる。</p>	<p>・聖武天皇はどのような国づくりを目指したのだろうか。</p>		●	<p>【思①】資料から聖武天皇の業績について読み取り、情報を関連付けることで、天皇中心の国づくりが全国に及んだことについて考え表現している。</p> <p>行動観察・ノート</p>
	<p>◇鑑真が来日した経緯や正倉院の宝物について調べ、日本の国づくりとアジアの国々との関わりについて捉える。</p> <p>◆正倉院の宝物と外国から出土した品々を比較させる。</p>	<p>・鑑真や遣唐使は大陸からどのようなものを日本にもたらしたのだろうか。</p>	○		<p>【知①】写真や地図から正倉院の宝物と外国から出土した品々の類似性を読み取り、大陸の文化が鑑真や遣唐使を通じて日本に伝わったことを理解できている。</p> <p>ノート</p>
四次 (2時間)	<p>◇貴族の屋敷や暮らしの様子について調べ、貴族が栄えた頃の様子を捉える。</p> <p>◆貴族の屋敷と現在の生活を比較させる。</p>	<p>・貴族はどのような暮らしをしていたのだろうか。</p>	○		<p>【知①】貴族の生活や文化に関する情報を集め、現在まで受け継がれている文化があることを理解している。</p> <p>ノート</p>
	<p>◇大和絵やかな文字など貴族の時代に生まれた文化を調べ、日本独自の文化がつくられたことを考える。</p> <p>◆大陸から伝わった文化と日本独自の文化を関連させる。</p>	<p>・貴族はどのような作品を残したのだろうか。</p>		○	<p>【思①】大和絵やかな文字について調べた情報を関連付け、大陸から伝わった文化を基にして日本独自の文化が生まれたことを考え表現している。</p> <p>ノート</p>
五次 (2時間)	<p>◇この頃に生きた人々の思いや願いを考え、出来事や人物のつながりを関係図に表す。</p> <p>◆天皇中心の国づくりを目指した人物と政策、日本風の文化とのつながりを関係図にまとめさせる。</p>	<p>・この頃に生きた人々はどのような思いや願いをもっていたのだろうか。</p>	○	○	<p>【知②】調べたことを関係図や文にまとめ、天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が生まれたことを理解している。</p> <p>ノート</p> <p>【思②】大陸文化の摂取、大化の改新、大仏造営の様子、貴族の生活や文化を関連付けたり総合したりして、大陸から伝わった文化が日本の国づくりに生かされたことを考え表現している。</p> <p>ノート</p>
	<p>◇当時の日本の国づくりと大陸の文化との関係について話し合うことを通して、歴史を学ぶ意義を考える。</p> <p>◆児童の自分なりの考えを記入させる。</p>	<p>・大陸から伝わった文化は、日本の国づくりにどのように生かされたのだろうか。</p>			○
<p>単元を見通した学習課題に対する児童のまとめ(例)</p> <p>日本は、遣隋使や遣唐使を送り、律令や仏教など大陸の文化や政治の仕組みを取り入れて、天皇中心の国づくりを進めてきました。また、大陸の文化などを取り入れていくなかで、かな文字など日本独自の文化も生み出していきました。現代でも外国の文化などが日本に取り入れられていますが、平安時代のように、それらをふまえて日本に合った文化をつくるのが大切だと思いました。</p>					